

公益財団法人 核物質管理センター
第27回評議員会議事録

1. 開催日時 令和5年6月28日(水)
10時30分～12時30分
2. 開催場所 東京都港区新橋1丁目2番6号
第一ホテル東京 21階 「ルミエール」
3. 出席者(順不同)
 - 評議員 阿部 信泰、石塚 昶雄、草間 朋子、佐々木 康人、杉浦 紳之、
藤井 靖彦、松井 一秋
【評議員現在数7名、出席評議員7名】
 - 監 事 高本 学
 - 理 事 代表理事 理事長：下村 和生
業務執行理事 小林 功、久野 祐輔
 - オブザーバー(原子力規制庁) 10時40分から出席
長官官房 核物質・放射線総括審議官 佐藤 暁
放射線防護グループ 放射線防護企画課保障措置室長 寺崎 智宏
 - 事務局 総務部次長：猪狩 和 他
4. 議 長 評議員：松井 一秋
5. 議 題
 - 議 案(審議事項)
 - 第1号議案：令和4年度財務諸表等の承認
 - 第2号議案：役員候補者選考委員会の委員の選任
 - 報告事項
令和4年度事業報告

6. 議事等の経過及び結果

本日の評議員会には、オブザーバーとして、原子力規制庁から佐藤総括審議官と寺崎保障措置室長が同席することにつき、事前に評議員の方々の了解を得ており、理事長の挨拶後、以下会議を進めた。

まず開会に先立ち、定款第18条に基づく評議員会の議長の互選を行い、石塚評議員から松井評議員を議長に推薦する旨の発言があり、出席評議員全員異議無く、松井評議員が議長に選出され、以降、松井議長の進行により、議事を進めた。

はじめに事務局から、評議員現在数7名に対し本評議員会は7名全員の出席があり、定款第19条に規定する決議に必要な過半数の評議員の出席であることが報告された。また事務局から、各配付資料について説明があるとともに、各資料が不足なく配付されていることを確認した。

次に、定款第22条の議事録署名人について、藤井評議員と杉浦評議員の2名を選出し、議案の審議に入った。

6.1 議 事

6. 1. 1

報告事項

令和4年度の事業について、理事長から配付資料に基づき報告された。組織再編、情報セキュリティ対応、行動規範全面改訂、ISO9001 認証取得、DX化推進、新参事制度導入と運用、職員採用と女性登用、職員研修、OSLの賃借の仕組み、日本原燃等との協議、安全管理、開発試験棟改修と再活用、茨城原子力協議会広報誌「かがやき」への連載シリーズへの記事執筆、予算要求等、の法人運営に関係する事項を広く含めて、理事長から事業の報告があった。

評議員からは、(事業関係か、財務関係か、迷うところだが)法人活動の在り方について理事長へ展望を伺う発言があった。対して理事長から、公益財団法人核物質管理センター(以下「NMCC」と記す。)の経営をあずかる者として、指定機関業務以外の分野も就任時以降種々考えているところであるが、定款記載の事業としては核物質管理に関する指導や技術者の養成等があり、高度保障措置技術支援センターのような案を考えたこと等が説明された。また業務執行理事(保障措置検査分析部門担当)からも、

環境サンプリング分析の非定型業務には開発的要素が多くあり NMCC 職員の技術向上にも効果的と考えている旨、説明があった。

環境サンプリング分析に関しては、評議員から、大学を巻き込んで実施するとよい、とのコメントがあった。

なお、法人活動の在り方については、今後検討を継続することにした。

6. 1. 2

第1号議案 令和4年度財務諸表等の承認

事業の報告の後、令和4年度の収支決算状況、貸借対照表、正味財産増減計算書等の決算書類について、事務局から配付資料に基づき説明があった。令和4年度は収支の総括としては約百万円の黒字であったが、公益法人としての財務3要件（1. 公益目的事業比率 2. 収支相償 3. 遊休財産の保有制限）としては特に問題がないことが説明された。

評議員からは、事業全体における人件費割合、職員の被ばく管理状況、COVID19の影響について質問があり、業務執行理事及び事務局から適宜回答された。

審議の結果、出席評議員全員により当該財務諸表等が承認された。

6. 1. 3

第2号議案 役員候補者選考委員会の委員の選任

前回の評議員会を踏まえて事務局案として外部委員3名を提案し、審議の結果、了承された。評議員2名については、立候補はなく、評議員相互の推薦により、松井一秋評議員と杉浦紳之評議員が選任された。

また、審議過程において本件議案とは別に、「公益財団法人核物質管理センター役員候補選考にかかる指針」（令和5年6月7日評議員会決定）を改定すべきとの意見があり、次回評議員会にて改定できるよう進めることにした。まず本日評議員会で出された修正意見を踏まえて事務局が改案を作成し、各評議員へメール等で確認することにした。

7. その他

事務局から報告予定であった、4件（事務局機能、公募関係事務、職務内容書案、募集要項案）のうち、「職務内容書（案）」と「募集要項（案）」については評議員会で審議し決定しておくべき、との意見が評議員から出された。

検討の結果、本日の第2号議案に関連する事項であること（公募については、そもそも評議員会の権限に属する役員選任に関することである。定款第15条）、及び評議員全員の賛成を得たこと、により「職務内容書(案)」と「募集要項(案)」については、本日の評議員会での審議事項とした。

事務局から改めて説明があり、

「職務内容書(案)」と「募集要項(案)」について、現在案は事前に各評議員へ送付し、伝えられたコメントは反映している内容であること、また、本日の会議で追記修正があれば意見をいただきたい旨、伝えられた。

審議の結果、以下の点を追記修正し、各評議員へメール等で確認のうえ公募へ向けて進めることで了承された。

・職務内容書(案)の2. 文中の語尾を、ですます調から「となる」等に改め、全体の表記バランスをとる。

・同5.(2)選考方法の文中、評議員会での選任 ⇒ 業務執行理事の選定は理事会の決議 ⇒ また、原子力規制委員会の認可が必要 と記載順を変更する。

・同6.の欠格事項では、いずれの事項にも該当しない、とわかりやすくする。

・募集要項(案)の8.(2)の文中、評議員会での選任 ⇒ 業務執行理事の選定は理事会の決議 ⇒ また、原子力規制委員会の認可が必要 と記載順を変更する。

理事長から、会議終了に際し、本日の議論の中でNMCCの在り方が議論の対象になったこともあり、原子力規制庁で検討していただければとの旨、原子力規制庁へ伝えられた。

8. 配付資料

資料1 令和4年度事業報告書及び財務諸表等(案)

資料2 公益財団法人核物質管理センター役員候補者選考委員会の委員の選任について(案)

事務局から評議員会配付資料

・事務局(機能)について

・理事の公募関係事務(報告)

・職務内容書(案)

・公益財団法人核物質管理センター理事候補者 募集要項(案)

以上、評議員会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次のとおり記名押印する。

令和5年6月28日

議 長 松 井 一 秋

評 議 員 藤 井 靖 彦

評 議 員 杉 浦 紳 之

(議事録作成者 : 公益財団法人 核物質管理センター
総務部総務課長 遠藤 雅伸)